

集落支援だより

No.3

平成31年 3月15日 発行

編集・発行：地域おこし協力隊 集落支援担当 小林（企画情報課）

TEL：49-2001（奥川支所）

こんにちは！地域おこし協力隊の小林拓也です。

第3号となる今回の集落支援だよりでは人足支援と拠点整備についてお伝えします！

人足支援&拠点整備

昨年度より人足における集落の負担を軽減するため、町外から人足に参加してくれるボランティアを集める活動をしています。

現在は地域活性化について学ぶ大学生を中心に人足に参加してもらっており、普段の生活とは離れた自然の中での人足作業に「作業自体は重労働だが達成感が味わえる」、「こういった作業自体を経験したことがないので楽しい」、「住民の皆さんと自然にコミュニケーションがとれる」といった感想をいただいています。

また、こうした人足など集落の活動に参加しに来てくれる町外の方の負担を軽減するため、参加者が無料で利用することができる活動拠点を整備しています。

多くの集落で朝早くから人足が行われていることと思います。そうした都合上、人足に町外から参加しようとした場合、参加者は前日には町に来て宿泊してもらう必要があります。これまでは地域の農泊を利用したり、集落のお宅や集会所をお借りしたりしていました。ですが、家を使わせるのが集落の方の負担になったり、宿泊費等で参加者の負担が大きくなっていました。また参加者から作業後にはシャワーを使いたいなどの意見があったことなどから、参加者が自由に使える施設が地域に欲しい！ということで、奥川・中町にある空き家をお借りして集落支援活動の拠点として利用できるよう整備を始めました。

家の中の家財道具など一切をそのままの状態でお借りしたので、こちらも大学生たちと一緒に自分たちが利用しやすいように少しずつ掃除や備品の調達などの作業を進めています。

来年度はこちらの活動拠点の整備と人足支援の拡大に精力的に取り組んでいきたいと思っています。



堰上げ作業をする大学生



借り上げた中町の住宅



学生と一緒に拠点としての整備を始めています